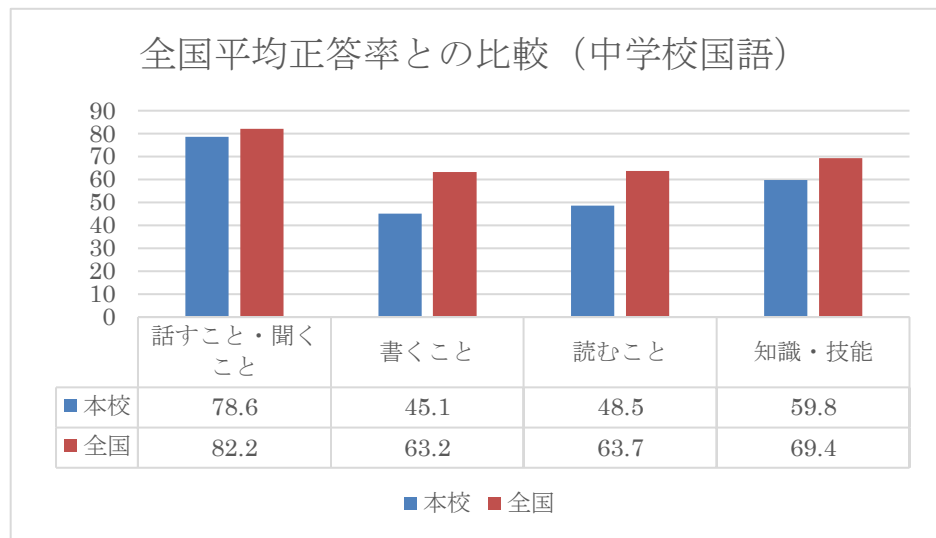


■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

全体的に全国平均を下回っています。特に書くことについては、全国平均を大きく下回る結果となりました。

(2) 成果と課題

「知識及び技能」における「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国平均67.5に対して、64.2と近い結果になりました。また、「話すこと・聞くこと」については全国平均82.2に対し、78.6と近く近い結果となりました。課題は、「知識及び技能」の「情報の取り扱いに関する事項」、「書くこと」「読むこと」の正答率を上げていくことです。今回、全校平均を下回った「書くこと」はその他の「知識及び技能」「読むこと」と密接に関わっている領域でもあるため、他の領域の正答率を上げていくことで「書くこと」の正答率も上げていくことが可能であると考えます。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 生徒が主体的に学べるように、授業の在り方を工夫すること（主体的・対話的で深い学び）で、生徒同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- グラフから情報を読みとって活用する活動や、調査結果をわかりやすくまとめる作業を通して、情報を取り扱う能力を向上させていきます。
- 学習した知識、技能や読み取ったことを元に自分の言葉で書く授業を取り入れていくことで他の領域の正答率も上げながら「書くこと」の正答率も向上させていきたいです。

【ご家庭では】

- 文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。日頃から文章を読み、考える習慣をつけていきましょう。新聞やニュースで最近話題になっている社会情勢などについて、各個人の意見をもって話し合ってみるのも効果的です。
- 読書を大切にしましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術…いろいろな本を読み、いろいろな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。市立図書館や本屋に定期的に行くことも、子どもの読書習慣をつける上でおすすめです。

(4) 今後の対策

- 話し合い活動など主体的・対話的に学ぶ機会を増やし、深く学んでいく対策をしていく。
- 既習事項を使って単元の終わりに自分の言葉で書く作業を習慣的に取り入れていく。
- 文章で表すだけでなく、グラフや表を使って分かりやすく示す活動を取り入れていく。